

第四十四回帝國議會
衆議院

地方鐵道法中改正法律案外一件

朝鮮私設鐵道補助法案
樺太地方鐵道補助法案
明治四十一年法律第三十五號中改正法律案

委員會會議錄(速記)第六回

會議

大正十年三月十二日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

本多貞次郎君 岡田伊太郎君 久慈 貫一君
久下 豐忠君 阪上 貞信君 有馬 秀雄君
大石 大君 下出 民義君 鶴澤 宇八君
森山儀文治君 鈴木久次郎君 植原悦二郎君
湯淺 凡平君 佐々木平次郎君
同月十一日委員青柳郁次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日有馬秀雄君又今十二日委員河相三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ阪上貞信君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府內務局長

樺太廳長官

樺太廳事務官

內務省土木局長

鐵道省監督局長

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軌道法案

朝鮮私設鐵道補助法案

樺太地方鐵道補助法案

○委員長代理(大石大君) 今日ハ委員長ガ不在デゴザイマシテ、暫ク私ガ委員長ノ席ヲ讀スコトニ致シマス、軌道法案ノ討論ニ移リマス

○湯淺凡平君 私ハ一ツノ希望ヲ述ベテ本案ニ賛成ヲ致シマス、第三條ニ主務大臣ノ特許ヲ受ケヘシトアリマスガ、此特許ヲ御與ヘナル場合ニハ管理者、即チ府縣ニ於テハ府縣知事トナテ居リマス、此許可スル場合ニ於テハ、縣ノ管理ニ屬スル道路ニ對シテハ、府縣會ノ意見ヲ徵シテ貴ヒタイソレカラ市町村ノ道路ニ關スル場合ニ於テハ、市町村會ノ意見ヲ求メテ特許ヲ受ケルヤウニ御取計ヲ願ヒタイ、是ハ御承知ノ通り道路法制定ノ場合ニ於テ、全體此土地ハ國有デアルヤ否ヤト云フコトハ、相當議論ヲ費シタノデアリマス、結局國有ト認メルト云フコトニナリマシタ、其條件トシテ國家ノ道路ハ無論國家ニ於テ御勝手ニ御處分ナサルガ宜イ、併シ府縣若クハ市町村ノ道路ニ對スル管理、是ハ市町村會或ハ府縣會ノ意見ヲ求メルト云フコトニ就テ、所謂道路會議ヲ開ク場合ニハ、府縣ハ府縣ニ市町村ハ市町村ト云フヤウナ、ソレト勅令ニ規定スルコトニナタ歴史

ガアリマス、斯ノ如キ道路ヲ國家ニ於テ所有スルト認メマシタニ就テモ、特別ノ歴史ガアリマスカラ、其歴史ノ附イテ居ル道路ニ對シテ、唯テ軌道ダケハ主務大臣デ其等ノ意見ヲ顧ミズ勝手ニ之ヲ御許可ナサルト云フコトニナルト、道路法案ノ所謂制定ノ歴史ニ對シテ多少遺憾ガアリマスカラ、規定ハ是デ宜シウゴザイマスガ、特許ヲ與ヘル場合ニハ、只今希望スルガ如ク御取扱ガ願ヒタイと思ヒマス、今一箇條ハ第十二條ノ規定デアリマスガ、是ハ修繕ノ中ニ橋梁ヲ含メテ居ルガ、同ジ橋梁ノ中ニモ無論鐵橋アリ「コンクリート」モアリマスガ、修繕或ハ改築スル場合ニ於テ、軌道經營者ガ費用ノ分擔ヲスルト云フコトニ就テハ餘程御考慮ヲ願ヒタイ、非常ニ軌道經營者ノ窮境ニ陥ルコトガナイヤウニ此場合ニ十分御注意ヲ以テ此負擔額ヲ定メルト云フコトニシテ戴キタイ、此二箇條ノ希望ヲ述ヘマシテ本案ニ賛成ヲ致シマス

○鈴木久次郎君 私モ一二ノ希望ヲ述ベテ本案ニ賛成ヲ表シタイと思ヒマス、本案ハ大體ニ於テ現行法ノ規定ニ優ルコト萬々ナルコトハ確ニ承知シテ居リマスガ、尙ホ完全ト申スコトガ出來ナイヤウニ思フノデアリマス、併ナガラ一々十分ナルコトヲ望シテ之ニ修正等ヲ加ヘマスルコトニナルト、此會期切迫ノ際、殊ニ議案ノ輻湊 テ居リマス折柄デゴザイマスカラ、此案ガ若シ通過ヲシナイヤウナ事ニデモナリマスルト、甚ダ遺憾デゴザイマスカラ、唯タ當局ニ希望ダケヲ述ヘテ、速ニ本案ニ賛成ヲ致シテ置キタイと思フノデアリマス、其一ツハ此第四條ノ占用料ヲ新ニ取ルト云フコトデアリマス、是ハ取ルト致シマシテモ、命令デ定メルカ、ドウ云フ割合デ徵收致シマスルカハハキリ致シマセヌ、デ新ニ斯ノ如キモノヲ徵收スルノニハ、相當ノ標準等ヲ能ク承テ、而シテ贊成スルコトガ當然デアラウト思ヒマスガ、併ナガラ先日來ノ御説明ニ依リマシテモ、餘リ會社經營者ニ迷惑ヲ掛ケルコトハアルマイト云フヤウナ御説明デゴザイマスカラ、此點ニ就テハ十分ニ「兎ニ角」新ニ徵收スルト云フコトデゴザイマスカラ、成ベク經營者ニ迷惑ノ掛ラヌヤウニ、酷イ損害ノ及バヌヤウニ致シタイ、斯様ナ希望ヲ持テ居リマス、モウ一ツハ第九條デアリマスガ、是ハ道路管理者道路ノ新設又ハ改築ノ爲必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ道路敷地トスル、斯ウ云フコトデアリマス、無償デ道路敷地ニ取テシマフト云フコトハ、是モ多少ノ無理ガアリハシナイカト思フノデアリマス、併ナガラ此點ニ就テモ

第四條ト同ジ譯デ、是亦經營者ニ害ヲ與ヘ、多大ノ不利益ヲ被ラシムルヤウナ考ハナイト云フ御話デゴザイマスシ、旁ヒ矢張此軌道業者ノ經營ヲシテ困難ナラシメナイコトヲ十分御含ミ置キヲ希ヒマシテ、此點ニ就キマシテモ贊成ハ致シテ置キマス、尙ホ地方鐵道法ニハ、先達テモ此所デ討論セラレマシタ通り、第三十六條ノ二ト云フモノヲ追加致シマシテ、補償ノ規定ヲ設ケタノデアリマス此軌道法ニハ此補償ノ規定ヲ設ケナイ、サウ致シマスルト、地方鐵道法ト此軌道法トノ間ニ甚シク不權衡ニナルト云フヤウナ感ジガ致スノデアリマス、一方ハ補償シ、一方ハ補償ヲシナイト云フヤウナ點ニ就テハ、吾々ハ大ニ意見ガアルノデアリマス、是モ前段申上ゲマスル通り、此案ノ速ニ成立スルコトヲ希望スル點カラ致シマシテ、敢テ修正ノ意見ハ提出致シマセヌ要スルニ是等ノ點ハ十分當局ニ於ケレマシテ御注意下サイマシテ、サウシテ此軌道經營者ニ甚シキ害ヲ與ヘ、損害ヲ被ラシムル事ノナイヤウニ、十分御注意ヲ希ヒマシテ、本案ニ賛成ヲ致シマス

○岡田伊太郎君 私ハ原案ニ賛成デアリマス

○佐々木平次郎君 私モ原案ヲ贊成致シマスガ、此場合一言希望ヲ申上ゲテ置キマス、質問ニ對シテノ當局ノ御答ニ依ッテ、大體ハ御意見ノ程ハ分リマシタガ、尙ホ軌道ノ爲メニ道路ノ本能ヲ壞サレルト云フヤウナコトモナイ、詰リ道路一端ハ軌道ヲ敷設セシメタノデアル、即チ道路ヲ主體トシテ總テ御監督ヲ願ヒタイ、此事ハ地方長官ノ方ニ十分ノ御注意ヲ以テ御通牒ニナッテ、此點ニ對シテハ遺憾ナキコトヲ希望シテ本案ニ賛成致シマス

○委員長代理(大石大君) 其他ニ異議ハアリマセヌカ「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長代理(大石大君) ソレデハ原案ニ可決致シマス、引續キマシテ朝鮮並ニ樺太ニ於ケル鐵道補助法案ヲ議題ニ致シマス

○湯淺凡平君 總督府ノ朝鮮ニ於ケル鐵道監督ニ就テノコトヲ御尋致シマス、本案ニ依ッテ見マシテモ、朝鮮ニ於ケル是等ノ私設鐵道ハ内地ヨリモ非常ニ有利ナル保護ヲ受ケテ居リマスカラ、隨テ其監督モ一層嚴密ニアルベキモノト心得テ居リマスガ、承ハル所ニ依レバ施設ノ認可ヲ受ケテ、尙ホ未ダ工事ニ著手セザルニ先立テ、解散ノ決議ヲシタト云フヤウナ鐵道モアルト承テ居リマスガ、是ハドウ御監督ニナッテ居リマスガ、斯ウ云フモノニ對シテモ、尙ホ補助金ハ御遣リナッテ居ルノデアリマスガ、第二ハ現在ノ私設鐵道ノ

中ニハ、既ニ工事ニ著手シテ居リマスケレドモ、甚ダ其計畫、其方法宜シキヲ得ナイ爲メニ、世間ヨリ兎角非難ヲ蒙リマシテ、ソレガ爲メニ是程優渥ナル保護ヲ受ケテ居ル會社デアリニ拘ラズ、其株券ノ市價ハ甚シク下落シテ居ルト云フヤウナモノ、現在アルヤウニ考ヘテ居リマスガ、全體是等ノ鐵道ヲ監督ナサル上ニ於テハ、ドウ云フ風ニ御遣リニナッテ居リマスカ、此事ヲ御同致シマス

○大塚政府委員 御答致シマス、私設鐵道ノ監督ニ就キマシテハ、朝鮮私設鐵道令ノ定メル所ニ依リマシテ、認可ヲ致シマス同時ニ、一定ノ期間ヲ指定致シマシテ、其間ニ工事方法書ヲ提出シ命ジマス、其工事方法書ヲ適當ト認メマシタ時ニハ、之ニ又期限ヲ附シマシテ事業ニ著手セシメ、又豫定ノ期間内ニ竣工サセルコトニナッテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテハ其條件ヲ充シテ、或ハ事業ニ著手シ、或ハ測量設計中ノモノデアリマス、唯ダ遺憾ナル事ニハ、昨日モ御質問ガアツクデアリマスガ、許可ヲ受ケタル會社ノ中デ一ツハ解散シ、一ツハ解散ノ決議ヲシタト云フ會社ガアルノデアリマス、其解散シタ會社ハ事業經營ノ方法ヲ誤ラタカ、或ハ工事ノ設計ガ間違タ、線路ノ選定ガ違タト云フヤウナ意味デアリマセヌデ、是ハ國有鐵道ト線路ガ重複若クハ並行スルガ爲メニ、會社ガ自ラ進ンデ解散シタノデアリマスマウ一ツハ解散ノ決議ヲシテ、マダ許可ヲ得テ居ラスノデアリマスカラ、決議ノ效力ハ發生シテ居リマセヌケレドモ、是ハ丁度昨年ノ經濟界ノ不況ヲ受ケマシテ、非常ニ株式ノ下落シタ當時ニ於テ株券ヲ澤山買收シタ者ガアル、而シテ今日之ヲ解散スレバ、株券ヲ買收シタ價格ヨリモ餘計ナ配當金ヲ得ルト云フヤウナ關係カラ、餘リ宜クナイ動機ノ下ニ、解散ノ決議ガ實行サレタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、甚ダ遺憾ノ次第デアリマスケレドモ、又經濟界ノ影響ト致シマシテ已ムヲ得ヌコト、考ヘテ居リマス、唯ダ解散ノ決議ヲドウ取扱フカト云フコトニ就キマシテハ、總督府トシテハ目下考慮中デアリマス、出來ル限リ豫定ノ事業ヲ遂行サセタイト云フ考ヲ以テマシテ、色々會社ノ重役等ニモ話ヲシマシテ見タノデアリマスガ、解散ノ意見ガ株主ノ中ニ非常ニ多數デアリマシテ、遂ニ解散ヲヤテシマッタ次第デアリマス、ソレカラ第二ノ御質問ノ設計、計畫等ガ當ヲ得ナイ爲メニ、株券等ガ非常ニ下ッテ居ル、斯ウ云フ會社ニ對シテハドウ云フ監督ノ方法ヲ執ルカト云フ御尋ノヤウニ拜承シマシタガ、是ハ當局ト致シマシテハ、爾餘ノ鐵道ニ就テハ設計ナリ、計畫ナリガ當ヲ失タモノトハ見テ居ラスノデアリマス、孰レモ許可ヲ受ケマシタ線路ハ適當ナモノデアアル、將來是非ハ遂行サセタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、勿論此中ニハ昨年三月以來ノ經濟界ノ打撃ノ爲メニ、第二回以後ノ拂込ガ出來マセヌ

デ、豫定ノ期間内ニ著手出來ナイヤウナ鐵道モアリマス、併シ多クノ鐵道ハ尙ホ設計ヲシマシテ、工事方法ノ認可ヲ申請スベキ期間中ニアルノデアリマス、又設計ガ出來マシタ鐵道ニ就キマシテモ、株金ノ拂込ガ出來ナイ爲メニ、工事ニ著手ガ出來ナイト云フヤウナ鐵道會社ニシテ、工事途中デ止メナケレバナラヌヤウナモノニ對シテハ、政府ハ出來ルダケ心配ヲ致シマシテ、資金ノ融通等ヲ得セシメルヤウニ致シマシテ、工事ヲ續行シツ、アル會社モ一二アルノデアリマス、右様ナ次第デアリマシテ、一面ニ於テ法規ニ基ク監督ヲ爲ス同時ニ、事業ノ遂行ヲ是非サセタイト云フ考ヲ以テ、之ヲ獎勵シ援助ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ解散ノ決議ヲシタ會社ニ對スル補助金ヲ、引續イテ與ヘテ居ルカドウカト云フ御質問デアリマシタガ、此點ニ就テハ實ハ會社ノ計算ヲ見マス、餘程高金利ヲ預ケテ居ルモノト見エマシテ、九年ノ下半期ニハ補助ガナクテモ、尙ホ八分ノ配當ガ出來得ル程度ニアルノデアリマス、九年ノ上半期ニ與ヘマシタ補助金ニ就キマシテハ、補助ノ條件ニ依リマシテ、是ハ返還セシメルコトニ取扱フ積リデアリマス

○湯淺凡平君 能ク分リマシタ、次ニ御尋シタイノハ、鐵道ト治水トノ關係デアリマス、朝鮮ノ交通ヲ發達セシムルガ爲メニ鐵道ノ延長ヲ御圖リニナルト云フコトハ、誠ニ適當ナ事デアリマスガ、併ナガラ朝鮮ハ御承知ノ通り、如何ニ鐵道ヲ延長シマシタ所ガ、治水上云フコトガ行ハレナケレバ、本當ニ交通ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、能ク砂上ノ樓閣ト云フコトヲ申シマスガ、朝鮮ニ於テハ一ノ形容詞ニ非ズシテ、事實今日ノ鐵道ガ年々實際ニ砂上ノ樓閣ノ事實ヲ現ハシテ居ルコトハ、總督府ニ於テ御認メノ通りデアリマス、今後トモ鐵道ガ延長シマスレバ、鐵道延長ノ爲メニ水害ト云フモノガ、増ストモ減ズルコトハナカラウト思ヒマス、是ハ内地ニモアル例デアリマシテ、或ハ堤防ヲ築クトカ、橋梁ヲ架ケル、治水ヲ其儘ニシテ置イテ、斯ウ云フ工事ヲ起シマス爲メニ、非常ニ損害ヲ起スノデアリマスガ、今日ノ朝鮮ノ道路ニ於キマシテモ、私ガ度モ申シマス通り、道路ハアツテモ橋梁ガナイト道路ノ效力ヲ發揮スルコトガ出來ナイヤウニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ此通り交通政策カラ鐵道ノ補助ヲシテ其普及ヲ圖ラントセラルナラバ、特ニ治水ト云フコトモ、最モ急務ナルモノトシテ御著手ニナラナケレバナラヌ、鐵道ヲ敷クトキハ治水事業ト云フモノハ閑却スベカラザルモノデアリマス、然ルニ私ハ三四年以來此事ニ就テ意見ヲ屢、此議場ニ於テモ漏シテ居ルノデアリマスガ、一向要領ヲ得タル御説明ヲ承ラナイ、治水ハ只今申ス通り交通ノ點カラ申シマシテモ、其他一般朝鮮ノ産業ノ上カラ見ルモ、文化ノ上カラ見マシテモ、非常ニ重大ナ緊急ナ問題デアリマス

ルガ、一體治水ニ對シテ總督府ハドウ云フ御方針ヲ執ッテ居ラレマスカ、御説明ヲ願ヒマス

○大塚政府委員 御說ノ通り鐵道ニ致シマシテモ、道路ニ致シマシテモ、河川トノ關係ハ極メテ重要ナル關係ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、朝鮮ノ河川ガ頗ル荒レテ居ルト云フコトガ、斯様ナル事業ニ對シテ非常ナル障礙ヲ及シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマシテ整理ト云フコトハ、朝鮮ノ開發ノ上カラ見マシテモ、單リ鐵道、交通機關トノ關係許リデナク、耕地ノ關係、未墾地ノ關係、總テノ關係カラ必要ナノデアリマスケレドモ、御承知ノ通り治水メマスルニハ山ヲ先キニ治メナケレバ、到底部分的ノ工事ナドデハ、朝鮮ノ川ハ之ヲ整理スルコト云フコトハ六ヶシイ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ頗ル氣ノ長イ話デアリマスガ、總督府ハ此併合前ヨリ、引續イテ、山ニ植樹ト云フコトヲ遺ッテ居ルノデアリマスガ、此點ニハ餘程力ヲ注イダノデアリマス、併シ此山ガ未ダ其荒方ガ非常ナルモノデアリマシテ、マダ此荒廢ノ度ガ極度ニ達シナイ所ハ、植樹モ相當ガアリマスケレドモ、荒廢ノ度ノ極端ニ參リマシタ所ハ、其植樹等ニ非常ニ金ガ掛リマスルノデ、財政ノ關係カラ致シマシテ思フヤウニ遺レナイノデアリマス、併ナガラ此豫算ニモアリマス通り、河川ニ關係ナル而シテ荒廢ノ非常ニ激シイ所、サウシテ民間ノ力デハ出來ナイヤウナ所ニ對シマシテハ、直チニ造林費ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ洛東江、或ハ錦江等ノ上流、サウ云フヤウナ大河川ノ上流地方ニ之ヲ施行シテ居ルノデアリマス、是ト同時ニ一面ニ於キマシテハ、河川ノ調査費ヲ前年來計上致シマシテ、河川ヲ一十五大河川ト稱シテ居リマスガ、此河川ヲ指定致シマシテ、只今ノ所デハ上流ノ調査ニモ少クトモ十年以上位費サナケレバ計畫ハ立タヌサウデアリマス、只今ハ其河川ハ上流ノ調査ヲシテ居ルト云フヤウナコトヲ遺ッテ居ルト同時ニ、一面ニ於キマシテハ、此河川ニ對スル各種ノ施設物等ハ、將來ノ河川整理ノ爲メニ重大ナル影響ヲ及シマスカラ、是ハ總督府ノ直轄シテ各種ノ處分等ヲ致シテ居ルト云フヤウナ風ニ、注意ヲ拂ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、治水ノ事ハ極メテ重要デアリマスルガ、今日ノ所ニ於キマシテハ、未ダ治水計畫ノ基本タル調査ノ實行中デアアル、此程度ニ止マッテ居リマスルノデ、未ダ治水計畫ノ全體トシテノ系統的ナモノガ出來テ居ラスヤウナ次第デアアル、勿論市街地又ハ耕地等ニ障礙ヲ及スヤウナ地點ニ對シマシテハ、部分的ニ工事ヲ相當遺ッテ居ル次第デアアル、左様御承知ヲ願ヒマス

○湯淺凡平君 成程根本的治水政策ト云フモノハ御話ノ通りデアリマセウケレドモ、併ナガラ是ハ所謂百年河清ヲ待ツニ類スルモノデアリマス、差當ッテ鐵道ニ補助ヲ爲スッテ

モ、中々朝鮮ノ水害ニ依テ破壊サレル部分ト云フモノハ、私
ガ申ス迄モナク、或場合ニ於テハ、其私設會社ノ根柢ニマデ
影響ヲ及ス程ノ損害ヲ與ヘルノガ今日ノ實際デアル、其根
本ノ方針ハ免ニ角トシテ、差當テ部分的ニモ交通機關ヲ
保護スルダケノ、少ナクモ橋梁ニ對スル補助位ハ速ニ著手
ニナル方ガ相當デハナカラウ、然ラザレバ折角ノ様々法案ヲ
御出シニナシマス、遂ニ其目此治水ニ關シマシテハ、私モ多少
ノ意見ヲ持テ居ル、何レ又他日ノ機會ニ於テ思ヘリ申上
ゲルコトガアリマセウガ、免ニ角此法案ヲ御制定ニナレバ補
助ノ目的ヲ達シヤウト云フ場合ニ於テハ、同時に治水ト云
フコトモ御計畫ニナルコトガ相當デアルト思ヒマス、私ノ質
問ハ是デ止メマス

○岡田伊太郎君 鐵道ヲ普及セラレマスノニ、事業ハ朝鮮
内地デアリマスケレドモ、此企業者即チ會社ヲ設立スル所
ノ人々ハ、内地ト朝鮮ノ諸リ資本家デアリマス、其比例ガド
ウ云フ風ニナリテ居リマス、ソレカラ朝鮮ノ中デモ鮮人ト日
本人ノ振合、即チ其會社ニ對スル重役ノ内地等ノ關係ヲ
承リタイノデアリマス、ソレカラ今ハ財界ノ稍、變動ヲ現ハシ
テ居ル時デアリマスカラ、少シ標準ヲ出シ惡イカトモ思ヒマ
スルケレドモ、大體ニ於キマシテ朝鮮ノ現在ノ確實ナル事業
ヲ標準トシテノ利廻リト云フモノガ、ドノ位ノ程度デアリ
マスルカ、是等ノ關係ハ本案ノ補助率及補助ノ額ヲ定メマス
ル上ニ於テハ、餘程ノ關係ノアル事デアリマスカラシテ、多少
話ガ鐵道以外ニ互テモ宜シウゴザイマスカラシテ、此場合
朝鮮ノ一、大キク申シタナラバ財界ノ一端ヲ御伺ヒ出來レ
バ好參考ニナラウト思ヒマス、巨細デナクテモ、御承知ノ範
圍デ宜シウゴザイマス

○大塚政府委員 此朝鮮ノ鐵道ニ、内地人ノ資本ト朝鮮
人ノ資本トノ割合ハ、人間ノ數デ申シマスルト云フト、内地
人ガ九十五ニ對スル朝鮮人ガ五デアリマス、ソレカラ株券ノ
數ニシマスルト、内地人ノ有シテ居リマスル株券ガ九十八
デ、朝鮮人ノ有シテ居リマスル株券ガ二ノ割合デアリマス、
尤モ此内地人ト申シマスル中ニハ、又朝鮮ニ居リマスル所ノ
内地人モ包含シテ居リマス、即チ九十八ノ中十四、株數ニ
シマシテ十四ガ朝鮮、ソレカラ八十四ガ内地ニ居ル内地人、
人員ニ致シマスレバ九十五ノ中二十二ガ朝鮮ニ居ル内地人、
リマス、残りノ七十三ガ内地ニ居ル内地人デアリマス、ソレカラ
此重役ガドウ云フ風ニ割振ラレテ居ルカト申シマス、朝鮮
人ノ重役ヲ入レテ居リマス會社ガ、十四ノ會社ノ中デ五デ
アリマス、各々一人宛入レテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋
此朝鮮ニ於キマスル會社ノ利廻デアリマス、其調ハ此所ニ
持テ居リマセヌノデ、正確ナル事ヲ申上ゲ兼ヘルノデアリマ

ス、併シ特殊銀行若クハ特殊ノ保護ヲ受ケマスルヤウナ會
社ハ、只今ノ所一割位ノ配當ヲ致シテ居リマス

○岡田伊太郎君 今度此改正サレマシタ八分ノ補助ニ依
リマシテ、幾ラカ朝鮮人ノ出資、朝鮮人ノ企業ニ力ヲ入レシ
ムルト云フコトニナリマセヌカ、只今御説明ノハ既往ノ事デ
アリマスガ、是カラノ將來ニ向テ、成ベク朝鮮ノ事業ハ朝鮮
人ヲシテ加ヘセシメル、主體ニナツテヤウナ位置マデ進メテ
行キタイ、ソレニ就キマシテハ或程度迄ノ犧牲ヲ拂テ、歩合
ノ割合ノ宜イ、安全ナル方法ニ依テ、鮮人ノ事業ニ力ヲ進
メル習慣ヲ造テヤラナケレバナラス、デ相成ベクハ日本人ニ
致シマシテモ——本國人ニ致シマシテモ、朝鮮ニ居ル人ガ其
業務ニ直接携ハル、成ベクハ其所ニ居ル人ノ仕事ニナレバ、
尙更宜イト思フノデアリマス、就中朝鮮人ノ資本、鮮人ノ
力ヲ以テ事業ヲ爲シ、殊ニ此地方鐵道杯ハ其方ニ誘導シテ
モ戴キタイト思フノデアリマス、御話ヲ承ハルト大抵一割位
ガ利廻標準ダト云フ御説デアリマス、然ラバ今一步進
メテ所謂朝鮮人ノ企業心トデモ申シマセウカ、サウ云フ方
面ニ力ヲ入レテ行キヤウナ方法ヲ執ル必要ガアリハセヌカ、
唯チ朝鮮人自體ノ自力カドウデアルカ、問題モアリマセウケ
レドモ、要スルニ朝鮮ノ仕事ハ朝鮮ノ人ト朝鮮ノ内地人ト
ガ、少クモ半々位ナ合辦ニ依テ成立シテ行クコトガ、總テノ
點ニ於テ好キ機ヲ得ルノデハナカラウカト思ヒマス、此點ニ
就テ少シク御伺ガ出來レバ結構デス

○大塚政府委員 朝鮮ニ於キマスル各種ノ事業ニ對シマ
シテ、朝鮮人ノ加入ヲ勸誘致シマシテ、之ヲ内地人ト共同ノ
仕事ニスルコト云フ方針ハ、總督府ト致シマシテモ御意見ノ
通り以前カラ執テ居ル方針デアリマス、却テ或時代ニ於テ
ハサウ云フ事ヲスル爲メニ、干涉ニ失スルヤウナ非難ガ反對
ニ起ツタ事デアアルノデアリマス、唯チ鐵道ノ如キ大資本ヲ要ス
ル事業ニ對シマシテハ、朝鮮人ノ今日ノ民力——經濟力ニ
於キマシテハ、中々出來ナイト云フヤウナ結果ハ、只今申上
ゲマシタヤウナ數字ニ現ハレテ來タコトデアラウト思フノデア
リマス、總督府ト致シマシテハ、何所迄モ内地人ト朝鮮人ノ
共同事業ト云フコトハ歡迎スル所デアリマス、此融合ト云
フコトモ經濟的融合カラ出發シタ方ガ、私ハ一番堅固ナ融
合ニナリハセヌカ、斯ウ云フ考ヲ以テ出來得ル限り御意見ノ
如キ方針ノ下ニ赴キツ、アルノデアリマス、ソレデ只今私ガ
朝鮮ノ利廻リノ事ヲ申シマシタガ、主トシテ朝鮮銀行デア
ルトカ、殖産銀行デアルトカ云フ、特殊會社ト云フテ御斷リヲ
申上ゲマシタガ、是ハ經營既ニ十幾年ニ達スルヤウナ會社、
若クハ特殊ノ地位ヲ有テ居ル會社デアリマシテ、特別ナ條
件ノ下ニアリマスルノデ、他ノ事業會社ノ如キモノガ斯ノ如
キ配當ヲ爲シツ、アルモノハ、殆ドアルマイト考ヘテ居ルノデ

アリマス、現ニ紡績會社ハマダ計畫中デアリマス、事業ニ著
手シナイヤウデアリマスケレドモ、僅ニ七分ノ補助デヤテ居
リマスト云フヤウナ次第デアリマシテ、他ノ關係カラ見マスレ
バ、寧ろ事業會社トシテハ此補助ハ比較的宜イ方デアリマ
ス、現ニ朝鮮銀行ニシマシテモ、殖産銀行ニシマシテモ、政府
ノ之ヲ補助シタノハ六分、若クハ七分ト云フ程度ノモノデ
アッタノデアリマス、殖産銀行ノ如キ七分迄政府ノ持株ニ配
當シナクテモ宜イト云フヤウナ、補助ノ方法ヨリ外執ラナカ
タヤウナ次第デアリマス、デ先日モ申上ゲマスル通り、内地ト
比較シマシテモ、亦朝鮮ノ事業會社ノ利廻リニ於ケル現狀
ヨリ見マシテモ宜イ程度ニナツテ居リマス、永久ノ法律ノ場
合ト致シマシテハ、此程度以上ニ進メルコトハドウカト考ヘ
ルノデアリマス

○有馬秀雄君 私ハ第一ニ一寸御尋シタイノハ、湯淺君
ノ御質問ニ對シテ、政府委員ヨリ或會社ノ解散事項ニ就テ
ノ御答ニ、或者ガ廉イ時ニ株ヲ買占メテ、解散ヲスレバ拂戻
金ガ澤山ニアルカラ、其利益ヲ得ル爲メニ解散ヲ決議シタノ
デアルト云フ御言葉ガアリマシタガ、是ハ政府委員ニ於テ何
カ的確ナル御調カ、又ハ證據ヲ持テ御答ニナツタコトデア
リマセウカ、ソレヲ先ジ伺ヒマス

○大塚政府委員 昨日ハ同ジヤウナ御質問ガアリマシテ、
サウ云フ風ノ事モ聽イテ居ルト申シマシタノデ、今日或ハサ
ウ云フ風ニ聽イタト別ニ申上ゲテ居ナカッタカモ知レマセヌガ、
私共ハサウ云フコトヲ聽イテ居ルノデス又或會社ノ重役ノ如
キ、解散ヲ防止スル爲メニ勸誘ニ努メタケレドモ、ドウシテモ
其事ヲ承知シナカッタト云フ所ヲ見ルト、サウ云フ噂ガ或ハ
眞デアアルマイカト考ヘラレルノデアリマス、併シ確的ノ證據ヲ
持テ、サウ云フ意思デアルト云フコトヲ表明シタ人ハ一人モ
ナイノデアリマスカラ、證據ヲ持テア申スノデハアリマセヌ

○有馬秀雄君 是ハ某會社ト仰シヤイマシタカラ、私ノ關
係スル會社トハ違フカ分リマセヌガ、既ニ解散シタ會社ハ朝
鮮產業カ興業鐵道ガアリマスガ、私ノ關係シタル會社ハ朝
鮮散ノ事情ニ就テハ、總督並ニ總監ニ詳シク數回陳情シテア
リマスカラシテ、前段政府委員ノ御話ニナツタヤウナ疑ハ起ル
譯ハナイト思ヒマスガ、是等ノ事ハ解散側ニハ非常ニ重大ノ
關係ヲ及シマスカラ、確カナ事ガアリマスレバ宜シイガ、然ラ
ザレバ御取消ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大塚政府委員 此解散ノ動機ガドウ云フコトデアルト
云フコトハ、別段本案ニ關係ナイ事デアリマスカラ、私ノ聽キ
マシタ所ガ違テ居リマスナラバ、取消シテモ一向差支ゴザイ
マセヌ

○有馬秀雄君 他ノ質問ニ移リマスガ、地方鐵道ノ條例
中ニ、主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバト云フコトガ一ツ

ト、ソレカラ地方會社ノ解散ノ決議ハ、主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其效力ヲ生ジナイ、ト云フコトガアリマスガ、此許可ヲ認可ニ就テノ區別ノ御説明ハ願ハレマスマイカ、ソレカラ既ニ御質問ガ出タカ存ジマセヌガ、此鐵道ノ建設費ニ對シテ補助ト云フコトガアリマスガ、内地ノ地方鐵道ニハ建設費トアリマスケレドモ、朝鮮ノ方ハドウ云フ譯デ拂込株金額ト云フコトニナリマシタノデスカ

○大塚政府委員 内地ノ如ク建設費ヲ標準トシテ補助スル方法ニ依ラズシテ、朝鮮ニ於テハ特ニ拂込株金額ニ對スル歩合ヲ補助スル方法ヲ執リマシタノハ、詰リ朝鮮ノ鐵道ノ性質ニ鑑ミテ次第デアリマス、朝鮮ノ地方鐵道ハ内地ノ地方鐵道ト餘程其趣ヲ異ニシテ居リマス、百五十哩、二百哩ノ長距離ニ達スルモノガアリマシテ、隨テ多額ノ金ヲ要スルノデアリマス、朝鮮ノ現在ノ資力ヲ以テシテハ中々此建設ガ六ヶシ、内地ノ資本ヲ呼バナケレバナラヌ、斯ウ云フ關係ガアリマス、朝鮮ノ事情ニ十分通ジテ居リマセヌ人ニ對シテ株式ヲ引受ケテ貰フニハ一番分り易イ、株式ニ對スル何歩ノ配當ガ出來ルト云フコトヲ以テ話ヲシタ方ガ分り易イノデアリマス、此標準ヲ執リマシタ、ソレカラ許可ヲ認可ト標準ハ、色々學說トシテハアルノデアリマス、今日ニ於テハ大體慣例ニ依リテ區分シテ居ルヤウデアリマス、或ル禁止サレテ居ル事項ヲ許ス場合ヲ許可ト稱シ、當然爲シ得ベキ事デアレケレドモ、政府ノ或ル承認ヲ得ルトキニハ認可ヲ受ケルト、斯ウ云フ用方ガ極マテ居ルヤウデアリマス

○有馬秀雄君 是ハ會社監督上ノ事デスカ、或會社ガマッテ何等ノ事業ヲモ致シマセヌ、所謂工事ニ著手シテ居リマセヌガ、其會社ガ營業報告ノ中ニ建設費ノ科目ノ下ニ計算報告ヲスル、然ルニ此建設費ナルモノハ、何等ノ事業ヲシテ居リマセヌカラ建設費ガアル譯ガナイニモ拘ラズ、建設費デ考課狀ヲ出シテ居ル、而シテ其内容ヲ見レバ經費デアリマスカ、ソレヲ年々長クナリテ行ケバ拂込ハ全減スル狀態ニ在ルモノモアリマス、其等ニ就テノ總督府ノ御監督ハ如何ナモノデアリマス

○大塚政府委員 一寸諒解シ難イ點ガアリマス、拂込ヲシテ建設ニ使ハナイ、然ルニ經費ノ爲メニ使ッテ無クナッテシマッタノデスカ

○有馬秀雄君 無クナル迄デアリマセヌケレドモ、會社ガ出來テ全部拂込ヲシテ而シテ工事ニ著手シマセヌ、工事ニ著手シテ居ル譯デナイニ拘ラズ、建設費ナル目ヲ立テ、計算ヲ立テ、其内容ニ入レバ經費ガ建設費ニ計上サレタト云フ場合、サウスレバ急ニハ無クナリマセヌケレドモ、長イ内ニハ詰リ消滅スルト云フコトニナルノデスカ

○大塚政府委員 總督府ト致シマシテハ、其點ニ對シテハ、特別ノ注意ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、ソレデ拂込ヲシタ場合ニ於テハ、或ハ其金ヲ別ニ流用シテ利殖シナイ、只ダ遊バシテ置クト云フヤウナ事ニナッテハ行ケナイト云フノデ、補助ノ條件ト致シマシテ、七分以上ノ利子ヲ取り得ル所ノ銀行、其他確實ナル人ニ預ケルト云フ條件ヲ附ケテ居リマス、其爲メニ今日迄ノ所ニ於キマシテハ、拂込金ノ利子ヲ以テ各般ノ經費ヲ補ッテ居リマス、配當シテ居ル所ハアリマセヌケレドモ、株金ニ喰込ムヤウナ會社ハ今迄ノ所一ツモ無いノデアリマス

○有馬秀雄君 小サナ問題デスケレドモ、私ノ申上ゲタ事ガ分リマセヌカ知レマセヌケレドモ、所謂其經費ナルモノヲ建設費ニ組込シテアルカラコソ、詰リ株金ガ消滅スルコトニナルノデアリマス、ソレカラ經費ヲ建設費トシテ支辨スレバ其利益ハ上リマセヌケレドモ、經費ヲ建設費ト云フ財產ニ充テ、アリマスカラ、其建設費ナルモノハ長ク經テバ消滅スルト云フ譯デアリマス

○大塚政府委員 ソレハ會社ニ於テハ損スルカ知レマセヌガ、工事前ノ建設費ハ調査設計等ニ經費ガ大分掛カルノデアリマス、又是ハ實際ニ於テ鐵道ガ出來マセヌ場合デアリマシテモ、設計調査費ト云フヤウノモノハ炭鑛費ト同ジヤウナモノノデ、設計調査ヲ致シマシタ其費用ハ當然損失ニ歸スベキモノト考ヘテ居リマス

○湯淺凡平君 只今ノ有馬君ノ御質問ニ關聯シテ一言伺ッテ置キタイ、只今ノ私ガ御尋致シマシタ朝鮮ニ於テ認可ヲ受ケテ、補助金ヲ受ケテ、工事ヲ著手セズシテ解散ヲ行フト云フヤウナ不都合ナル會社ガアリマスレバ、是ハ甚シイ不都合デアルト思ヒマス、然ルニ此會社ハ只今ノ有馬君ノ御質問ノ御趣意カラ承リマス、有馬君モ御關係ニナリテ居ルモノト思ヒマス、先刻政府委員ヨリ御説明ノ通り、是ハ廉ク株券ヲ買込シテ、而シテ解散ヲスレバ利得ニナル、其爲メニ斯様ナ事ヲ爲スト云フコトハ能ク分ッテ居ル事實デアリマス、若シ斯様ナ事ガアリマシタラバ、是非常ニ不都合ノ事デアラウト思ヒマス、只今政府委員ハ無難作ニ御取消ニナリマシタガ、是ハ少クとも斯様ナ事ヲ耳ニスル限り、是ハ此處デ決スベキモノデハナクシテ、更ニ嚴格ナル御調査ヲ爲サルコトガ適當デアラウト思ヒマス、左様ナ御調査ヲ爲サルカドウカ伺ヒマス

○大塚政府委員 私ハ先刻モ申シタル通り、此點ニ就キマシテ唯サウ云フ悲説ガ盛ニ傳シタト云フダケヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリマス、ソレデサウ云フ悲説ヲ聽イタト云フコトヲ取消シタ次第デアリマス、今日ノ答辯ノ中ニ若シサウ云フ動機カラヤク者ガアルト云フコトヲ斷言シタトシマスナラバ、是ハ確定ノ調査ヲ行ッテ上ノコトデアリマシテ、此場合取消スコトヲ穩當ト認メマシテ取消シタノデアリマス總督府ト致シマシテハ、解散ノ動機ガドウ云フ點ニアルカト云フコトハ、是ハ無論會社ハ認可ヲ請ナケレバナラヌ筋合ニナッテ居リマス、調査ノ上ニ其調査如何ニ依ッテハ總督府トシテハ適當ナ處分ヲスルト云フ考デアリマス

○湯淺凡平君 敢テ言葉ノ上ニ彼此言フノデアリマセヌガ、既ニ斯様ナ事ヲ御聽込ニナッテ居リナガラ、之ニ對シテ窮乏シテ居ル總督府ノ財政ノ中カラ補助金ヲ居與ヘタル以上ハ、斯様ナ事ガアリマスナラバ、是ハ早速ニ御調ベニナッテ、相當ノ御處分ヲ爲サルト云フコトガ至當デアラウト思ヒマス、速ニ御調査ニ御著手アランコトヲ希望致シマス

○阪上貞信君 施設鐵道補助法ノ第一條、補助額補助ノ點ニ就テ先刻政府委員カラ御説明ガアリマシタガ、是ハ現在ノ朝鮮ニ於ケル施設鐵道ノ補助トシテ、政府ハ果シテ此ハ朱ガ適當ナ補助額デアルト云フ御見込デアリマス、或ハ將來ニ於ケル此施設鐵道ノ事業ニ向ッテ、年八朱ノ補助ガ適當ノモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、尙ホ進シテ此補助ハ八朱ニ止マリマスレバ、將來未開始線ニ屬スル會社モ十四會社アリマス、此未開始線ノ資本金ハ一億三千三百餘圓デアリマス、是等ノ會社ガ確實ニ拂込ヲシテ確實ニ事業ヲ遂行スルコトガ出來ルヤ否ヤ此點ニ就テ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○下出民義君 昨日今誰方ガ御尋ニナッテ同様ノ事ヲ私モ御尋致シマシタガ、其當時ノ政府委員ノ御辯明ニ、今ハ金利ハ高イ、將來金利モ斯ナ高イ率ニハナラヌカラ、將來ハ八朱十分デアルト云フ御説明デアッタ、是ハ此朝鮮ノ補助ト云フコトハ、成ベク早く鐵道ヲ完成スル、成ベク早く交通ノ便ヲ圖リタイト云フ御趣旨デ此法案ヲ御出シナッテ以上ハ、將來金利ガ下ッテ場合ニト云フヤウナ、斯ウ云フ先キノコトヲ見テノ御考デハナカラウト思ヒマス、一日モ早く完成シタイト云フノガ此法案ノ目的グラウト思ヒマス、ソレニ今ハ利子ハ高イガ將來下ルグラウト昨日御説明デアッタガ、其邊ガドウモ私ハ矛盾シテ居ルト思ヒマス、將來内地ノ輕便鐵道ハ五朱ノ補助金、今度ノ地方鐵道ノ補助モ五朱デアリマス、其結果ハ無配當ノ會社モナイデアリマセヌガ、二朱位ノ收益ハ大抵アリマス、五朱ノ補助ト云フテモ結果ハ七朱ノ利廻リニハナルノデアリマス、其結果内地ノ輕便鐵道ニ投資スル者ガ多クテ、却テ八朱ノ朝鮮ニ於ケル鐵道ニ投資スル者ガ少ナクナル、是ハ今日迄ノ現在ノ狀態デアリマス、ソレハ内地ニハ縱令補助ハ五朱デモ結果ハ七朱ニ廻ルヤウニナッテ、僅ニ一朱ノ違ヒデアッテモ、尙ホ朝鮮ノ鐵道ニ向ッテ内地ノ方カラ投資スル者ガ相當ニア

ルト云フ御見込デアルカ、重ネテ其事ヲ御尋シテ置キマス、幸
ヒ今誰方カ御尋ニナリマシタカラ御一緒ニ御説明ヲ願ヒタイ
○大塚政府委員 八朱ガ適當デアリカドウカト云フコトハ
色ニ御説モアリマセウガ、鐵道ヲ促進スルト云フ上カラ見マ
シタナラバ、多クモイ程宜イハ勿論デアリマスケレドモ、
他トノ振合モアリマス、從來朝鮮ノ各種ノ企業ニ對スル補
給ハ七分見當ノモノヲヤ、テ居ルノデアリマシテ、ソレカラ見
テ一分増スノデアリマスカラ、先ヅ大體八分ヲ適當ト見テ提
案シタノデアリマス、現在ニ於テハ八分ハ到底投資スル者ガ
無イト云フ御見込デアリマスガ、兎ニ角八分分配當ト云フ下
ニ今日ノ鐵道會社ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、必シモ八
分デアリガ爲メニ投資ガ全然無イト云フコトハナカラウト思
フ、八分デアリ今日ノ金利カラ見テ、鐵道ノ普及ヲ獎勵スル上
カラ見テ低イヤウニ思ハレマスケレドモ、長イ間ノ期間此補
助ガ出來マシレバ、此經濟界ノ變動ノ時期ニ於ケル利子ハ
早晚多少下ッテ行クモノト見ラレマス、夫是レノ事情ヲ斟酌
シテハ八分適當ト認メタノデアリマス、八朱ヲ以テ未完線ノ
一千何百哩ガ果シテ豫定ノ通り、出來ルカドウカト云フ御
質問モアリマシタケレドモ、此年限等ニ就キマシテハ、朝鮮鐵
道事業ノ經營ト云フコトガ内地ト違ッテ餘程困難デアル、故
ニ豫定ノ通り必シモ出來ルト斷言ハ出來セヌケレドモ、政府
トシテハ出來ルダケ豫定ノ通り遂行シタイ考ヲ持ッテ居ルノ
デアリマス、材料ノ供給、勞力ノ不足、土地買収ノ困難、氣
候ノ關係等各種ノ困難ガアリマス、色ニ思フ通りナラヌ
點ガアリマスガ、併シ多少ノ年限ノ相違ハアルニシテモ、現在
ノ許可線ノ大部分ハ之ヲ遂行シ得ルモノト認メテ居リマス
○阪上貞信君 只今ノ御話ニ就テハ、是カラ多ク言フト議
論ニナリマスカラ止メマスガ、併シ朝鮮ノ輕便鐵道ノ補助ハ、
私ノ記憶スル所ニ依レバ、現在ノ中央鐵道ニ對シテ補助サ
レタノガ確カ大正五六年頃ト記憶スル、爾來今日迄總督
府ハ年々命令ヲ以テ是等ノ會社ニ對シテ、拂込ニ對シ年八
朱ノ補助ヲシテ居、タノデアリマス、此第四十一議會ト思
ヒマスガ、其際ニ政府ハ朝鮮ノ輕便鐵道ニ對シテ年七朱ノ
補助案ヲ議會ニ提出サレントシタ時ニ、委員會ニ於テ色ニ
意見ガアリマシテ、確カ其法案ハ審議未了ニ終ッラウト思
ヒマス、爾來此補助費ノ問題ニ就キマシテハ、當局ト一般ノ
考ガ非常ニ異ッテ居ル爲メニ、今日迄當局ハ本案ヲ提出セ
ズ今日ニ至、タモノト思ハレ、ソレデ最初中央鐵道ニ補助
ヲ與ヘマシタ當時ノ狀況カラ云ヒマス、當時朝鮮ノ一般金
利ハ今日ノ殆ド半分以下デアッテ、内地ニ於キマシテモ其當
時ノ金利ハ確カ二錢前後デアッテ思フ、政府委員ノ御答
辯ニ依ルト、八朱ノ補助ニ依ッテ十四會社、一億數千萬圓
ノ資金ガ投ゼラレタハナイカト云フ御意見デアリマスガ、昨
年、一昨年ノ最モ好景氣ノ時代ニ於テ、始メテ年八朱ノ補

助ノ下ニ朝鮮ニ於テ幾多ノ事業ガ起ッタモノデアルト思ハレ
ル、一昨年即チ我が經濟界ノ最モ勃興シテ居ル時ニ於テ補
助サレタ額ト、今日同様ノ額ヲ以テ果シテ是等ノ事業ヲ遂
行シ得ルヤ否ヤ、私ハ此點ニ於テ政府ノ御意思ノ在ル所ヲ
甚ダ疑フデアリマス、此點ニ對シテ只今政府委員ハ現在
拂込ガ出來、尙ホ將來モ事業遂行上差支ナイト云フ御答
辯デアリマスガ、既ニ一昨年出來マシタ會社中或ハ解散シ、
或ハ解散ノ決議ヲ爲シ、尙ホ將來解散セントスルモノガ多
クアルノデアリマス、此點ニ於テ現在ノ會社ガ將來ニ於テ拂
込ヲ完全ニシ、尙ホ進ンデ事業ヲ遂行シ得ルカドウカト云フ
コトニ對シテハ、本員ハ甚ダ疑ナキヲ得ヌデアリマス、只今
他ノ御方カラモ御質問ガアリマシタガ、是以上ハ議論ニナリ
マスカラ止メマスケレドモ、要スルニ政府ハ八歩ト云フモノニ
依ッテ、内地モ五朱本位ヲ變更シテ二朱ヲ加ヘ七朱ノ補助
ヲ認メテ居ル今日、果シテ朝鮮ニ於テ僅カ一分ノ差ニ依
テ是等ノ事業ガ遂行シ得ルヤ否ヤ、甚ダ懸念ヲ致スノデアリ
マス、此點ニ對シテ更ニ政府委員ノ御意見ヲ煩ハスコトハ
議論ニナリマスカラ止メマシテ、更ニ次ノ質問ニ移ラウト思
ヒマス、補助法第五條ニ依ルト「補助金ノ年總額ハ最高ニ
百五十萬圓トス」トアリマス、是ハ如何ナル點カラ此數字ガ
出タモノカ存ジマセヌガ、先刻申上ゲタヤウニ現在ニ於テ朝
鮮ノ既設鐵道會社ハ既ニ八社アリマス、未設會社ガ十四
アル、此未設會社ノ資本金ヲ見マスル、一億三千三百六
十餘萬圓ニナッテ居ル、現在ノ拂込ガ千七百二十五萬圓ニ
ナッテ居ル、サウスル年八朱ト云フ標準ニ依ルト、二百五
十萬圓ハ約三千萬圓ノ拂込ニ相當スル、サウスル現在千七
百二十五萬圓ノ拂込ヲシテ居ルカラ、現在拂込シテ居ル倍
額ノ金額ヲ拂込メバ、ソレ以上ハ補助ヲヤルコトガ出來ナイ
ト云フ結果ニナリハセヌカト思フ、固ヨリ政府委員ハ是等ノ
會社ニ對シマシテハ、既ニ事業ニ著手シナケレバ相當ノ預
金ヲ持ッテ居ル、或ハ事業ノ建設ニ著手シテ居ル者ナラバ、
一部ノ開業ニ依ッテ相當ノ利益ヲ見出し得ルト云フ御説明
ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ此金額ヲ制限サレタ理由ヲ甚
ダ解スルニ苦シムノデアリマス、此點ニ就テ御答辯ヲ煩シタ
イノデアリマス

○大塚政府委員 總テノ資本金ハ一時ニ拂込マレマシテ、
事業ヲ遂行スルト云フコトニ致シマシテ、而モ其會社ハ一文
モ利益ガナイ、斯ウ云フコトヲ前提ト致シマスルト、御説ノ通
リ三千萬圓ノ資本以上ニハ補助ガ出來ナイ、併シ會社ハ建
設中ハ預金ノ利子モ相當アリマスルシ、又建設後ハ營業上
ノ利益モアリマスルシ致シマシテ、必ズシモ八朱金額ノ補助
ヲ要シナイ、ソレカラ建設ニ著手スル順序デアリマスルガ、二
千萬圓ノ會社ガアリマシタ所ニシマシテモ、此會社ハ五年ナ
リ、六年ナリ、其工事ニハ掛ルノデアリマス、順次ニ工事ノ出
來上ニ從ッテ利益ガ上ガル、斯ウ云フ風ノ關係ニナッテ參
リマスルノデ、適當ニ其工事ヲ「朝鮮ノ工事能力トデモ申
シマセウカ」能力ニ割振ッテ見マスルト云フコト、政府ノ見込ハ
十年間ニ約一億七八千萬圓ノ工事ニ對シテ、一箇年二百
五十萬圓ノ補助ガ出來ヤウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデア
リマス、ソレデ二百五十萬圓ノ限定シマシタノハ、ソレハ其財
源ノ都合カラ斯ウ云フ制限ヲ設ケタノデアリマシテ、此條項
ト、其次ニアル條項ガ聯絡シテ居ル條項デアリマシテ、内地
ノ鐵道補助法ノ一會計ノ如キ大キナ會計デア、斯様ナ條
文ヲ置ク必要ハナイノデアリマスケレドモ、朝鮮總督府ノ財
政ノ如ク彈力ノ少イ小サイ會計デア、彈力ノ少ナイ財政ニ於
キマシテハ一定ノ額ヲ豫定シテ置キマシテ、工事ノ繰延ニ
從ッテ其豫算モ、ソレニ對スル補助豫算モ繰延ベテ行タ方
ガ頗ル經理ニ都合ガ宜イ、斯ウ云フ點カラ第五條ト第六條
ヲ設ケタ次第デアリマス

○阪上貞信君 更ニ其點ニ就キマシテ、ハ樺太ノ方ニモ
アリマシタガ、制限額ガ「併シ樺太ノ方ハ只今議題ニナッ
テ居リマセヌガ、要スルニ補助ヲ與ヘルト云フ根本ノ……」
○委員長代理(大石大君) イヤ一括シテ議題ニナッテ居
リマス

○阪上貞信君 根本ノ精神カラ云ヒマス、只今大塚政
府委員ノ御答辯ニ依リマス、私ガ想像シタ如ク一面ニハ
預金ガアリ、一面ニハ建設費ニ對シテ將來利益ヲ來ス、斯
ウ云フヤウナ御豫想カラ詰リ此何ガ出テ居ルノデアリマス、
併シ現在朝鮮ニ於ケル鐵道ヲ見マスルト現ニ此政府デ計
畫サレテ、現ニ政府デヤ、テ居ラレマス所ノ、今滿鐵ノ管理ニ
ナッテ居ル京釜線、京義線ノ如キニシマシテモ、政府ノ御考
ノ如ク朝鮮ノ鐵道ガ果シテ近キ將來ニ利益ヲ來スヤ否ヤト
云フコトヲ甚ダ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、殊ニ十四會社
ノ未成線中ニハ、或ハ森林鐵道ト云フガ如キ、或ハ隨分咸
鏡北道邊リニハ、或ハキマスル田舎ニ於ケル鐵道モ多イデアリ
マス、私ノ考デハ只今政府委員ノ御述ベニナリマシタヤウニ
開業スルヤ否ヤ直チニ相當ノ利益ヲ產出シ得ルト云フモノ
ガ、果シテ幾線アルヤト云フコトヲ疑フノデアリマス、若シサ
ウ云フヤウナ場合ニハ、若シ假ニアリトシタナラバ、此二百
五十萬圓ダケデハ足ラナイ、若シモ三千萬圓以上拂込シ
場合ニ於テ、其會社ガ一時運用上利益ヲ得ナカッタト云フ
場合ニハ「全ク補助ヲ得ナカッタト云フ場合ニハ、如何ニ
爲サレカト云フコトヲ何ッテ置キタイノデアリマス、其間ニ
ハ繰越シテ行タト云フヤウナ御話モアリマシタガ、繰越ト云
フモノハ要スルニ二百五十萬圓ノ剩ッタ場合デアリマスガ、
剩ラス場合ハ「單ニ此二百五十萬圓ヲ以テ補助スルコ
トガ出來ナカッタ場合ニハ、如何ナル方法ヲ御執リニナルノ
デアリマスカ

○大塚政府委員　此二百五十万圓ノ補給金デ足りナカッ
タ場合ノ問題デアリマスガ、是ハ見込デアリマスカラ違フカモ
知レスト思フノデアリマス、私共ノ豫想シテ居ル以上ニ此建
設費ガ投ゼラレテ來マシタ場合、而シテ利益ガ生ゼナカッ
其爲メニ補助金ノ減少額ヲ増スト云フ必要ガアルト云フ場
合ニハ、又此金額ノ増額ヲシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
併シ是ハ財政ノ關係ガアリマズルカラ、財政ガ許ス場合ニハ
増額シタイ、財政ガ許サヌ場合ニハ新ナル補給ヲ努メルト云
フヤウナコトヲスル外仕方アルマイト思ヒマス、私共ハ此制
限ハ一應置キマシタケレドモ、事業ガ進捗シマス爲メニ是ガ
増スト云フヤウナ場合ニハ、出來ルダケ之ヲ外シタイト云フ
考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○委員長代理(大石大君)　ドウデセウモウ大底質問ガ盡
サレサウニ考ヘマスガ……

シタ、次ニハ幸ニ陸軍省ニ正式ニ御交渉ノ上、御交渉ガ纏
リマシタトキニ地方鐵道ハ之ニ敷設セラル、コト、思ヒマス
ガ、左様ナ場合ニハ鐵道ノ用地ハ殆下官有地ノヤウニ思ヒ
マスガ、是等ハ無償ニ依テ會社ニ拂下ニナル御考デアリマ
セウカ、或ハ又幾ラカノ有償ト云フコトニナリマセウカ、御差
支ナケレバ承リタイト思ヒマス

○永井政府委員　只今ノ御尋デグリマスガ、此道路ヲ使
用スルコトハ無償ニ依テ許可致ス積リデアリマスガ、其所
有權ノ點ニ就テハ未ダ調査ヲ致シテ居リマセスケレドモ、將
來或ハ會社ニ下附スルコトニナルカ、或ハ其他ノ將來ノ問
題ハ兎ニ角、只今デハ無償ニ使用セシメテ其目的ヲ遂行ス
ルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○阪上貞信君　軌間ノ事ヲ御尋致シタイノデスガ、軌間ハ
東清鐵道、滿鐵等、其他大體ニ於テ二呎六吋デアツテ、朝鮮

○阪上貞信君　マダ質問ガ一ツ残ッテ居リマス

○委員長代理(大石大君) 昨日見エテ居ラヌ人カ重櫛シテ居ルモノデアリマスカラ……

○阪上貞信君　モウ一ツ殘ッテ居リマスガ、若シ誰方カノ質

問ニ御答ニナッテ居ルヤウデアリマスナラ宜シウゴザイマス
○佐々木平次郎君 御ハ樺太ノ方ニ御尋シタイノデアリ
マスガ、昨日樺太長官ノ御説明スル所ニ依リマスツ云フト、
榮濱ヨリ國境ニ至ル間、之ニ鐵道ヲ架ケタル云フコトハ、實
ニ軍事上許リデナク、樺太ノ各植民ノ上カラシテ一日モ早

ク完成スルコトが必要デアル、斯様ニ御認メニナッテ居ルト思

フ次第デアリマス、私モ此點ニ就テハ至極同感ナ者デアリマ

スソレニ就キマシテ一寸御伺シタルハ、昨午陸軍側ニ加
キマシテハ榮濱ヨリ國境ヲ經テ更ニ亞港ニ至ル軍用道路ヲ
造ラシタヤウニ承ッテ居リマス、サウシテ此道路ハ自動車、或

ハ砲車ノ交通ニモ差支ナイ位ノ程度ニ、立派ナ道路ノヤウニ承ッテ居リマス、今申上ゲマシタ榮濱ヨリ國境ニ至ル間地

方鐵道ノ出願者ガアレバ、直チニ之ヲ許ス方針デアルト仰シ
ヤラレタノデアリマスガ、左様ナ時ニハ此軍用道路ノ上ニ直

チニ敷設スルコトニ致シマシタナラバ、大變工事ノ上ニ就テモ都合ガ好カラウト私ハ思フノデアリマスガ、此事ニ就キマ

シテ陸軍側ニ何等カ衝突ナサレタコトカアルノデアリマセ
ウカ、此點ヲ先キニ一ツ御伺シタイノデアリマス

スガ、御話ノ通り榮濱ヨリ國境ニ至ル間ハ、陸軍省ニ於キマシテ、樺太長官が委託ヲ受ケマシテ相當ナル道路ヲ出來テ

居ルノデアリマスカラ、此道路上ニ實ハ此私設鐵道ヲ使用
サセタイト云フ考デゴザイマシテ、今陸軍省トノ公式ノ交渉

ハゴザイマセヌガ、多分差支ナイ見込ヲ以テ進メテ居ルノデアリマス

大正十年四月十一日印刷